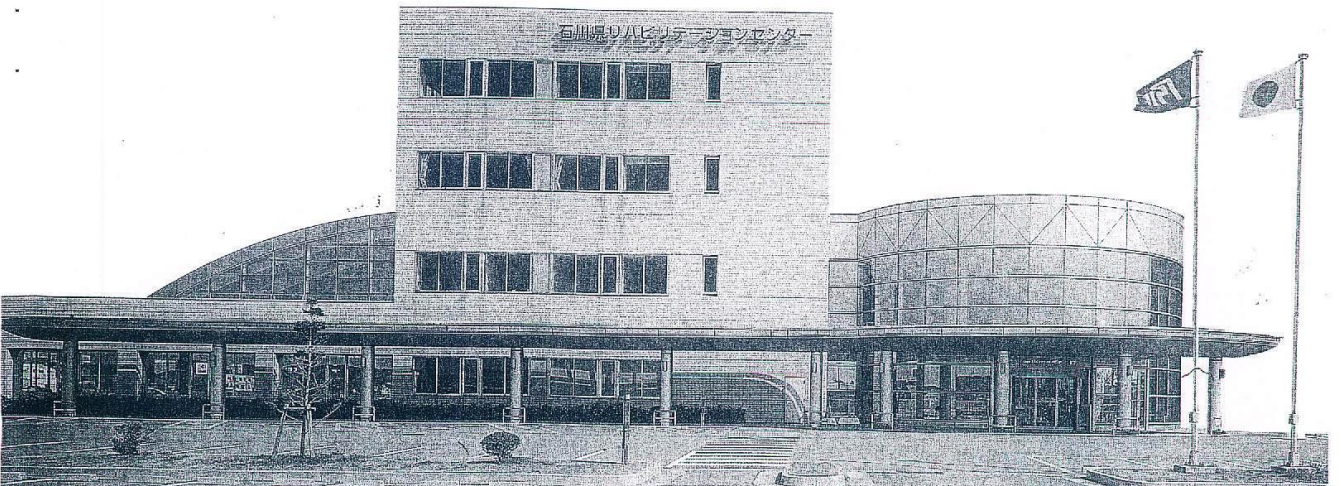


# 石川県リハビリテーションセンター

ISHIKAWA PREFECTURAL REHABILITATION CENTER

平成29年度事務提要



## 目 次

第1	施設の概要	2
第2	組織及び分掌事務	5
第3	職員数（平成29年4月1日現在）	6
第4	平成28年度の事業実績	
I	県リハビリテーション支援センターの状況	
1	地域リハビリテーション推進事業	
(1)	地域リハビリテーション推進検討会議の開催	7
(2)	地域リハビリテーション支援事業	7
(3)	リハビリテーション専門職広域派遣支援事業	10
2	支援指導事業	
(1)	リハビリテーションに関する啓発普及	12
(2)	研修	12
3	福祉用具研修・普及事業	
(1)	研修	13
(2)	普及事業	14
(3)	バリアフリー体験住宅「ほっとあんしんの家」の利用状況	16
4	リハビリテーション技術支援ネットワーク構築事業	
(1)	障害（児）者の自立に向けた支援機関連携モデル事業	18
(2)	補装具の適合・供給人材スキルアップ事業	21
II	バリアフリー推進工房の状況	
1	福祉用具・住環境に関する相談・支援事業	23
2	研究開発事業	25
3	技術普及・啓発	26
4	福祉用具の貸出	27
III	難病相談・支援センターの状況	
1	難病相談	28
2	患者交流会	28
3	研修会	28
4	連携会議	31
5	患者会支援	31
IV	高次脳機能障害相談・支援センターの状況	
1	高次脳機能障害相談	33
2	生活支援教室	33
3	就労者のつどい	33
4	家族教室	33
5	高次脳機能障害研修会	34
6	高次脳機能障害支援関係者連絡会	35

## 第1 施設の概要

### 1 庁舎

所在地 金沢市赤土町ニ 13-1

敷地面積 7,534.62㎡

建 物 鉄筋コンクリート造陸屋根 4階建

延べ床面積 4,356.77㎡

1階床面積 1,864.42㎡

2階床面積 1,140.05㎡

3階床面積 676.15㎡

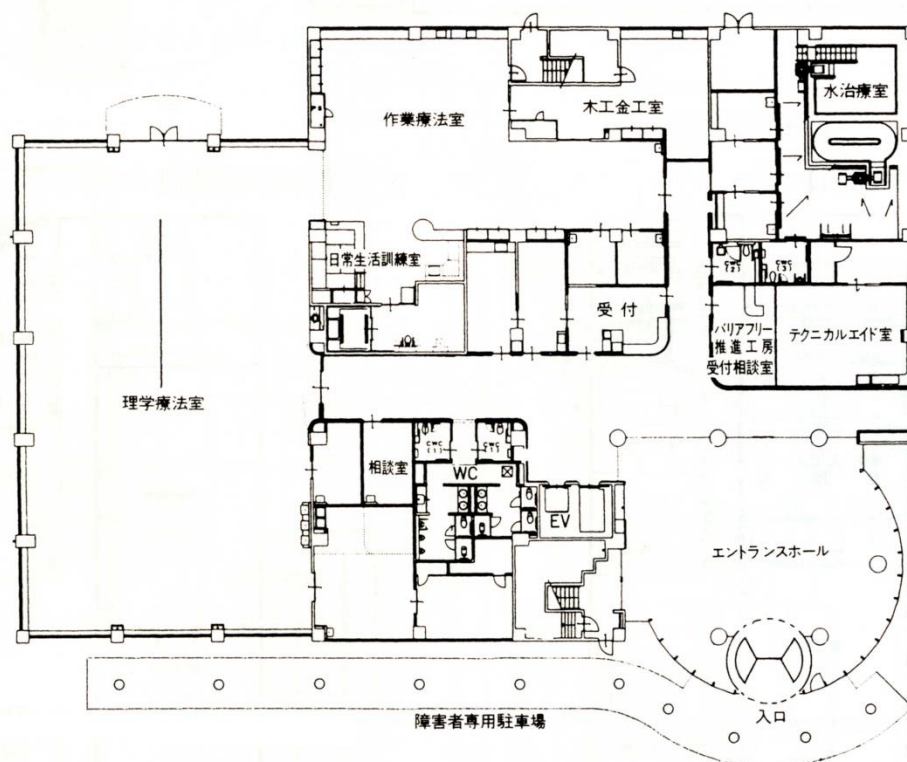
4階床面積 676.15㎡

その他 屋外訓練庭園 929.64㎡

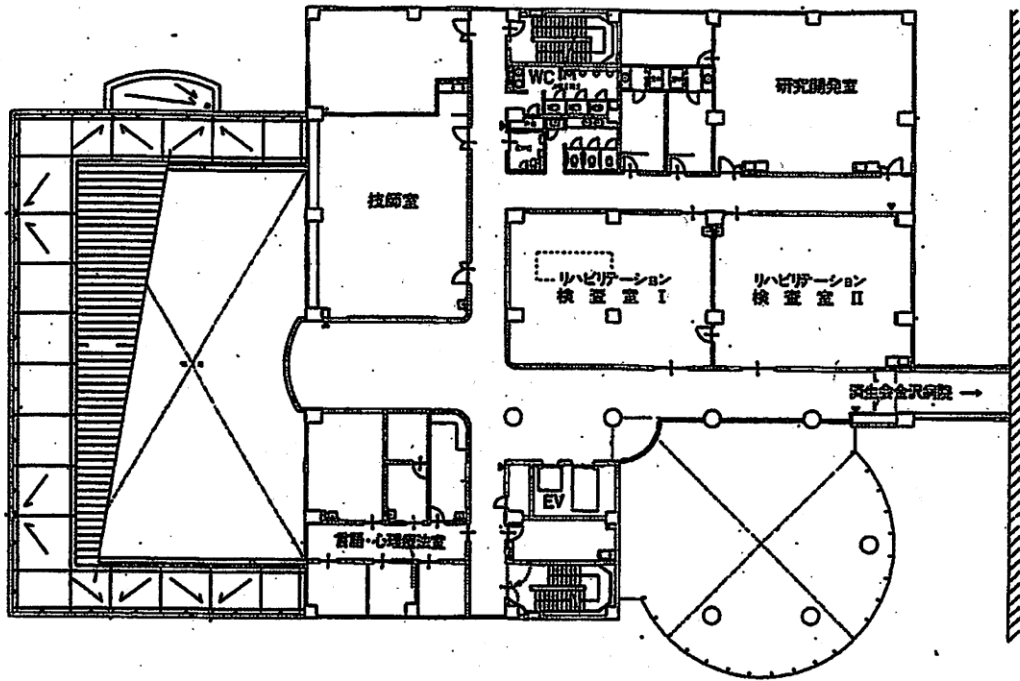
屋根付き障害者専用駐車場

プレハブ造車庫 46.75㎡

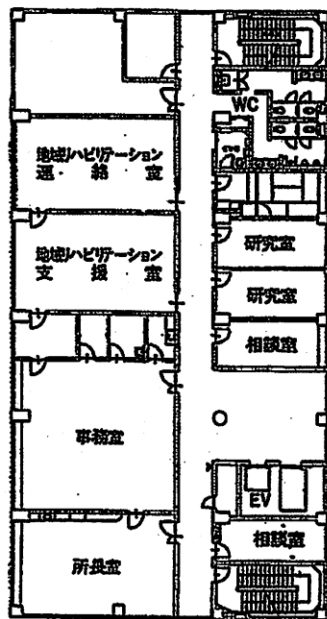
### 【1階平面図】



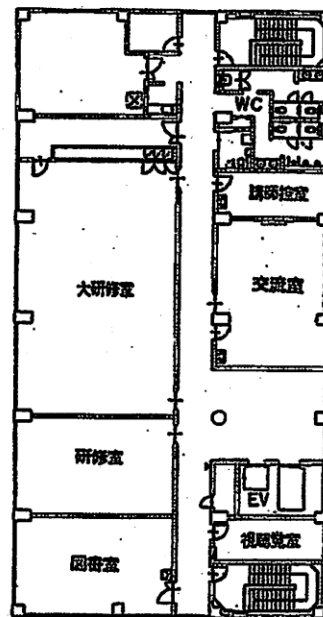
【2階平面図】



【3階平面図】



【4階平面図】



2 バリアフリー体験住宅ほっとあんしんの家

建 物 鉄骨造 2階建

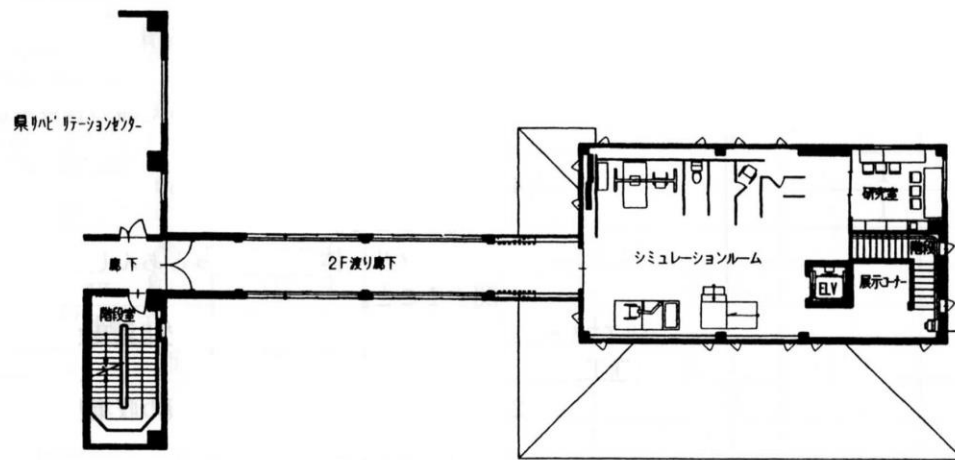
延べ面積 299.44㎡

1階 166.41㎡

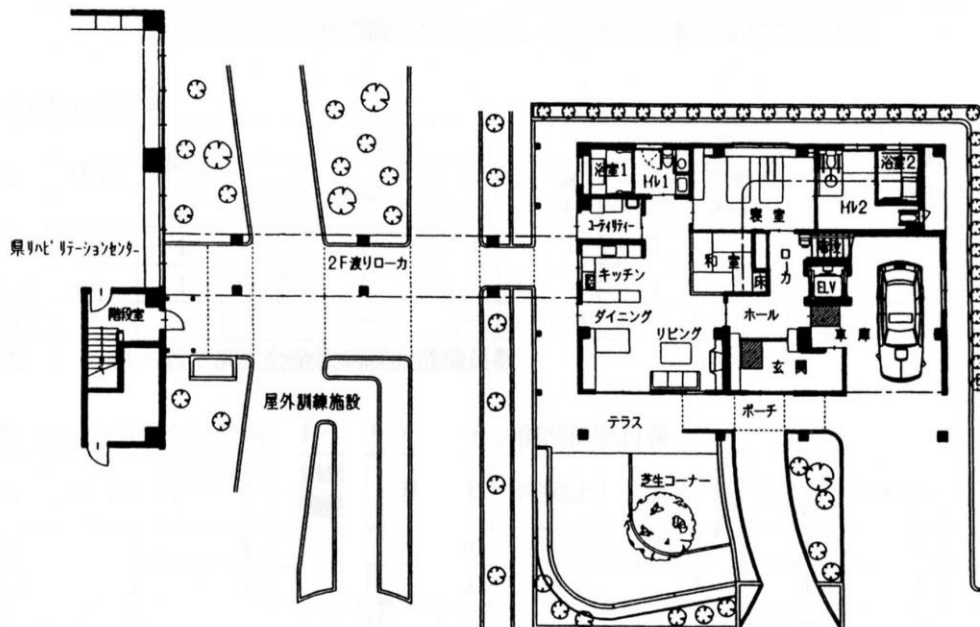
2階 133.03㎡

その他 渡り廊下 47.70㎡

計 347.14㎡



2階平面配置図



1階平面配置図

## 第2 組織及び分掌事務

次長 所長 —— (事務) (技術)	庶務課  支援課  バリアフリー 推進工房  難病相談・ 支援センター  高次脳機能 障害相談・ 支援センター	1 センター内の事務の連絡調整に関すること 2 石川県済生会金沢病院との連絡調整に関すること 3 他の課の所掌に属しない事項に関すること  1 リハビリテーションに関する教育研修及び調査に関すること 2 リハビリテーションに関する情報の収集及び提供に関すること 3 リハビリテーションに関する知識の普及及び啓発に関すること 4 リハビリテーションに関する地域活動の支援に関すること 5 バリアフリー体験住宅ほっとあんしんの家に関すること  1 自立支援機器等の研究開発及び相談・指導に関すること 2 自立支援機器等に関する情報の収集及び提供に関すること  1 難病・小児慢性特定疾病児童等の相談に関すること 2 患者会家族交流会に関すること 3 難病に関する研修及び情報収集に関すること  1 高次脳機能障害相談に関すること 2 患者会家族交流会に関すること 3 高次脳機能障害に関する研修及び情報収集に関すること
--------------------------	---	--

### 第3 職員数（平成29年4月1日現在）

#### 1 事業別配置現員調

単位：人

区分	現員	総括	庶務課	支援課	バリアフリー 推進工房	医療提供 (派遣職員)
所長	①	①				
次長・工房長	(1) 3	2			(1)	1
課長	(3)		(1)	(1)	(1)	
担当課長	1			1		
主幹	① 4		2	1	① 1	
企画専門員	4			2	2	
福祉専門員	2			2		
専門研究員	①				①	
主任技師	4			4		
技師	1			1		
嘱託職員	3			3		
臨時職員	3		1	2		
計	(4) ③ 25	① 2	(1) 3	(1) 16	(2) ② 3	1

(注) ( ) は所内における兼務職員数で内数、○は所外の兼務職員数で外数

#### 2 職種別現員調

単位：人

区分	事務	事務 (福祉)	技 術						嘱託・ 臨時	計	
			医師	保健師	理学療 法士	作業療 法士	リハビ 工学技 師	その他			小計
現員	3	2	(1)1	4	1	5	1	2	(1)14	6	(1)25

(注) ( ) は派遣職員数で内数

## 第4 平成28年度の事業実績

### I 県リハビリテーション支援センターの状況

#### 1 地域リハビリテーション推進事業

##### (1) 地域リハビリテーション推進検討会議の開催

###### ①目的

リハビリテーションに関する地域活動支援の推進を目的に、石川県リハビリテーションセンターの運営及び地域リハビリテーションに関することを検討する。

###### ②会議の構成

学識経験者、医師会等職能団体、患者、障害者団体、市町等の代表者、

###### ③実施状況

開催期日	主 な 議 題	出席者数
H29. 3. 22	平成28年度県リハビリテーションセンター事業の実施状況 平成29年度県リハビリテーションセンター事業の概要 その他	委員 18 人

##### (2) 地域リハビリテーション支援事業

高齢者や障害者が住み慣れたところで生き生きとした生活が送れるよう、地域の医療、保健、福祉、教育、就労に関係する機関に対して、リハビリテーション技術の支援及びリハビリテーション担当職員の人材育成のための研修を行う。

###### ① 他機関への個別支援

依 頼 機 関	件数
医療機関	244
障害者総合支援法関連施設（障害者施設等）	176
教育機関（特別支援学校、特別支援学級等）	143
介護保険法関連施設	30
訪問リハビリテーション事業所	70
保健福祉センター	29
障害者の相談支援事業所	164
市町	106
身体障害者更生相談所	20
難病相談・支援センター	116
高次脳機能障害相談・支援センター	106
職業関連施設	3
その他	145
合 計	1352 件



② 福祉施設への事業支援

支 援 内 容	件数
運動、作業、レクリエーション指導	0
環境調整や福祉用具の支援	6
リハビリテーション関係会議への参加	7
研修会講師	9
合 計	22 件

③ 教育機関への事業支援

支 援 内 容	件数
運動、作業、レクリエーション指導	1
環境調整や福祉用具の支援	0
連絡会の参加	1
研修会講師	7
合 計	9 件

④ 市町、保健福祉センター等への事業支援

事 業 名	依 頼 元	回数
リハビリテーション技術支援ネットワーク構築事業に係る市町支援及び連絡調整会議	内灘町(6)、金沢市(3)	9
県障害者自立支援協議会相談支援部会	県障害保健福祉課	5
県在宅医療・介護連携推進担当者研修会	県長寿社会課	2
介護予防事業担当者連絡会議	〃	2
介護支援専門員認定審査ポイント研修 講師	〃	1
能美市地域自立支援協議会定例支援会議	能美市	5
施設支援 同行訪問	南加賀保健福祉センター	1
パーキンソン病患者・家族のつどい 講師	石川中央保健福祉センター	2
〃	南加賀保健福祉センター	1
〃	能登中部保健福祉センター	1
後縦靭帯骨化症患者・家族のつどい 講師	南加賀保健福祉センター	1
難病相談会「大切な手足を温かく。快適な療養生活を送るために」 講師	能登北部保健福祉センター	1
平成28年度難病患者地域関係者研修会「ALS におけるコミュニケーション支援について」 講師	能登中部保健福祉センター	1
施設職員向けロコモティブシンドローム予防研修会 講師	石川中央保健福祉センター	1
〃	南加賀保健福祉センター	1
平成28年度市町等身体障害者福祉事務担当者研修会 講師	県身体障害者更生相談所	1
平成28年度バリアフリー条例に係る届出審査担当者講習会 講師	県土木部建築住宅課	1
合 計		36 回

⑤ 他機関への講師派遣、その他事業支援

研修会及び講義名	依頼元	回数
臨床看護概論：リハビリテーション 講師	石川県立看護大学	3
〃	石川県立総合看護専門学校	1
平成28年度初任者研修「特別支援教育Ⅱ」 講師	石川県教育センター	3
災害対策研修会 講師	県理学療法士・県作業療法士・ 県言語聴覚士連絡会	1
平成28年度介護相談員研修会 講師	社会福祉法人 金沢社会福祉協議会	1
平成28年度福祉用具専門相談員指定講習会 講師	〃	1
平成28年度就労支援連絡会	〃	1
リハビリテーションセンターの概要、福祉用具を用いた自立支援 講師	金城大学 理学療法学科、作業療法学科1年生	2
職場適応援助者養成研修 講師	独立行政法人 高齢・障害・求職者 雇用促進機構 障害者職業総合センター	1
課題解決型福祉用具実用化開発支援事業 福祉機器採択・技術委員会	国立研究開発法人 新エネルギー・ 産業技術総合開発機構	1
H28年度戦略的基盤技術高度化支援事業 研究開発委員会アドバイザー	公益財団法人 石川県産業創出支援 機構	1
選んで、使って、生き生き生活「基礎から学ぼう在宅サービス」研修会 講師	石川県脊髄損傷者協会	1
福祉機器技術研修 講師	金沢大学 理工学域機械工学類4年 生	3
金沢大学附属特別支援学校 職員研修会 講師	金沢大学 人間社会学域学校教育学 附属特別支援学校	2
平成28年度バリアフリー住宅改修講習会 講師	県土木部建築住宅課、NPO法人 バリアフリー総合研究所	4
合計		26回

(3) リハビリテーション専門職広域派遣支援事業

① 市町事業に関わるリハビリテーション専門職の育成研修

地域包括ケアシステムで市町が実施する総合事業に関与できるリハビリテーション専門職の育成を行う。

(対象：県内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)

実施年月日	研修内容及び講師	会場	参加者数
H28. 8. 7(日) 10:00～17:00	<p><b>【特別講演】</b>            テーマ「地域包括ケアとリハビリテーションー主体性を引き出すリハビリテーション」            講師：三軒茶屋リハビリテーションクリニック            院長 長谷川 幹</p> <p><b>【報告会】</b>            テーマ「市町の地域支援事業に関わるリハ専門職の実践報告」</p> <p>「小松市への関わり」            報告者：やわたメディカルセンター            理学療法士 後藤 伸介</p> <p>「津幡町への関わり」            報告者：介護老人保健施設            作業療法士 西谷 すずな</p> <p>「かほく市への関わり」            報告者：かほく市役所長寿介護課            作業療法士 橋岡 裕輝</p> <p>「金沢市への関わり」            報告者：自立就労支援センター            作業療法士 岡田 千砂</p>	リハビリテーションセンター	138人

② リハビリテーション専門職の連携体制づくり

市町が実施する総合事業において、リハビリテーション専門職派遣の必要が生じた際に対応可能な体制をつくる。

(対象：県理学療法士、県作業療法士、県言語聴覚士会の代表)

ア リハビリテーション連絡会議の開催 (計6回)

回次	実施年月日	議題	会場
1	H28. 4. 22(金) 16:00～18:00	今年度の事業について	リハビリテーションセンター
2	H28. 6. 17(金) 16:00～18:00	地域包括ケアとリハビリテーション研修会開催と七尾市モデル事業について	〃
3	H28. 8. 7(日) 8:00～10:00	地域包括ケアとリハビリテーション研修会運営打ち合わせ準備	〃
4	H28. 10. 12(水) 16:00～19:00	七尾市リハ連絡会とシンポジウム開催に向けて打ち合わせ	〃
5	H29. 1. 22(日) 12:30～14:30	七尾市モデル事業の結果と今後の取り組みについて	フォーラム七尾
6	H30. 3. 2(木) 16:00～19:00	今年度事業のまとめ	リハビリテーションセンター

イ 啓発普及のためのパンフレット作成

パンフレット「地域包括ケアとリハビリテーション」(3,000部)を増刷した。

ウ 啓発・普及のためのモデル事業(シンポジウム)の開催

実施年月日	シンポジウムの内容及び講師	会 場	参加者数
<p>H29. 1. 22(日) 10:00~12:30</p>	<p>シンポジウム 「地域包括ケアとリハビリテーション 七尾市の地域包括ケアシステムに向けて ～リハ専門職活用の可能性～」</p> <p>座長：(公社)石川県作業療法士会 会長 進藤 浩美</p> <p>シンポジスト 七尾市健康福祉部保険課 主幹 松本 美百紀 七尾市地域包括支援センター センター長 北山 達朗 七尾市社会福祉協議会地域福祉課 課長 善端 恭子 七尾紫蘭の会 会長 (えんやまグループ理事長) 円山 寛人 国際医療福祉専門学校七尾校作業療法学科 学科長 嶋崎 貴士 恵寿居宅介護支援事業所「けいじゅ」 管理者 諏訪 勝志</p>	<p>フォーラム七尾 (パトリア4階)</p>	<p>147人</p>

## 2 支援指導事業

### (1) リハビリテーションに関する啓発普及

#### ①リハビリテーションセンターニュースの発行（毎年5月、3月の2回発行）

県内のリハビリテーション関係者ならびに医療・福祉関係機関等に対して、当センターの活動及び関連情報等を紹介することによりリハビリテーションの普及啓発を図る。

(対象：県、市町、保健福祉関係団体、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が勤務する機関、地域包括支援センター、障害者の相談支援事業所、居宅介護支援事業所、福祉用具サービス事業所、特別支援学校・学級、介護老人福祉施設、障害者福祉サービス事業所、児童発達支援センター、障害児通所支援事業所等を対象に5月号を1,700部発行した。)

### (2) 研修

#### ①リハビリテーション医療専門職研修会

リハビリテーション医療に関する最新情報や先進的な取り組みについて研修し、リハビリテーション専門職の資質向上を図る。

(対象：県内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H28.6.18(土) 14:00～17:00	「地域現場で役立つ呼吸に関する機能評価と介入方法」 講師：兵庫医療大学大学院医療科学研究科 玉木 彰（理学療法士）	リハビリテーションセンター	195
H28.10.1(土) 14:00～16:45	「障害受容とリハビリテーション」 講師：聖隷クリストファー大学大学院 田島 明子（作業療法士）	〃	56
H29.1.14(土) 14:00～17:00	「高齢者・認知症のある方への摂食嚥下リハビリテーション」 講師：東京都立府中療育センター 山本 弘子（言語聴覚士）	〃	62
合計			313人

#### ②教職員リハビリテーション研修

障害のある児童・生徒を担当する教職員に対して、学校生活における自立支援および社会参加のためのリハビリテーションに関する知識、技術の向上を図る。

(対象：七尾特別支援学校との共同企画)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H28.8.8(土) 13:00～12:00	講演会「発達に障害がある子どもの不器用さ ～自閉スペクトラム症を中心に～」 講師：京都大学大学院医学研究科 加藤 寿宏（作業療法士）	ワークパル七尾	125人

### 3 福祉用具研修・普及事業

福祉用具や住宅改修の活用により、障害児・者の学校や職場を含めた日常生活において、自立度の高い生活の促進や介護者の負担を軽減するための支援技術の普及や意識啓発を目的とした研修等の事業を実施する。

#### (1) 研修

##### ① 福祉用具活用研修会

(対象：県内の医療機関、介護保険事業所、障害者総合支援法関連事業所等の職員)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H28. 8. 30(火) 13:30～16:00	「利用者の自立度向上のためのシーティング知識編」(講義) 講師：特別養護老人ホーム こすもす 副施設長 水上 直彦(理学療法士)	リハビリテーションセンター	25
H28. 9. 25(日) 13:30～14:30	「利用者の自立度向上のためのシーティング実技編1」(実技) 講師：リハビリテーションセンター職員	県産業展示館 4号館	14
H28. 10. 15(土) 13:30～14:00	「利用者の自立度向上のためのシーティング実技編2」(実技) 講師：リハビリテーションセンター職員	県産業展示館 1号館	21
H29. 2. 5(日) 10:00～16:00	「自立度向上のためのシーティング」 講師：さくらメディカル株式会社 大淵 哲也(理学療法士)	リハビリテーションセンター	81
計			141人

##### ② 職場環境改善研修会

(対象：県内の介護保険関連施設および障害者総合支援法関連施設の責任者等)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H28. 12. 5(月) 13:30～16:40	「職場環境改善を目的とした福祉用具の活用」 講師：福久ケアセンター サービスマネジメント部長 石原 利彦 「職場環境改善を目的とした福祉用具の活用事例報告」 講師：のだの里 畠山 宏土、池田 克彦 第二長寿園 寅口 隆、坂口 靖典 「職場定着支援助成金の事業説明」 講師：石川労働局職業安定部職業対策課 石田 淳	リハビリテーションセンター	17人

##### ③ 補装具に関する研修会(対象：補装具取扱業者、医療機関職員、福祉施設職員等)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H28. 6. 11(土) 14:00～16:30	「平成28年度補装具研修 ～補装具の支給制度について学ぼう!～」 講師：身体障害者更生相談所職員 リハビリテーションセンター職員	リハビリテーションセンター	73人

④ 福祉用具実技研修会（対象：相談支援専門員、介護支援専門員、市町職員等）

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H28. 7. 25(月) 10:00～13:00	「生活の中で活用する福祉用具の考え方」 講師：リハビリテーションセンター職員	リハビリテーションセンター	45人

(2) 普及事業

① バリアフリー普及・啓発事業（対象：一般県民）

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H28. 9. 25(日) 10:00～16:00	「すべての楽しみは出会いから動き出す」 (障害者ふれあいフェスティバル) 福祉用具・コミュニケーション機器等の展示 移動機器・福祉車両相談会	産業展示館 4号館	250
			50
H28. 10. 15(土) 10:00～16:30	福祉機器・介護ロボットコーナー (いしかわ介護フェスタ)	産業展示館 1号館	452
計			752人

② 県内の理学療法士、作業療法士養成校の学生のための福祉用具・住環境技術実習  
(対象：県内の理学療法士、作業療法士養成校の学生等)

実施年月日	内容	学校名、学科名、学年	参加者数
H28. 6. 27(月) 9:15～11:15	・移乗動作（簡易移乗機、リフト等） ・住環境	金沢大学 医薬保健学域保健学類 理学療法学専攻 3年	21
H28. 7. 11(月) 9:15～11:15	・移動（車椅子）	〃 〃	21
H28. 7. 22(金) 9:15～11:15	・片麻痺・対麻痺のADL、住環境について	〃 〃	21
H28. 7. 25(月) 13:00～16:30	・コミュニケーション機器 ・車いす	〃 作業療法学専攻 3年	22
H28. 7. 1(金) 10:30～16:00	・テクニカルエイドについて ・自動車運転に関して ・住環境からみる移乗・排泄・入浴動作	国際医療福祉専門学校七尾校 作業療法学科 2年	12
H28. 9. 2(金) 10:00～15:00	・センター、ほっとあんしんの家での見 学実習	〃 理学療法学科 1年	15
H28. 9. 13(火) 13:10～15:25	・センター、ほっとあんしんの家での見 学実習	金沢大学 医薬保健学域保健学類 理学・作業療法学専攻 2年	40
H28. 8. 17～24 8:30～17:15	・臨床基礎実習	金沢リハビリテーションアカ デミー 作業療法学科 2年	2
H28. 8. 22～26 8:30～17:15	・臨床基礎実習	金城大学 作業療法学科 2年	2
H29. 2. 8(水) 9:00～16:30	・施設見学	金沢リハビリテーションアカ デミー 理学・作業療法学専攻 1年	77

実施年月日	内 容	学校名、学科名、学年	参加者数
H29. 2. 9(木) 9:00～17:00	・チームアプローチについて ・移乗動作	金沢リハビリテーションアカ デミー 理学・作業療法学専攻1年	77
H29. 2. 10(金) 9:00～17:00	・移動機器 ・日常生活動作実習	〃 〃	77
H29. 2. 13(月) 9:00～17:00	・移動機器 ・車椅子	〃 〃	77
H29. 2. 14(火) 9:00～17:00	・コミュニケーション機器 ・日常生活動作実習	〃 〃	77
H29. 2. 16(木) 9:00～17:00	・日常生活動作 ・コミュニケーション (実技)	〃 〃	77
H29. 2. 20(月) 10:00～16:00	・臨床見学実習	金城大学 理学療法学科1年	69
H29. 2. 24(金) 10:00～16:00	・臨床見学実習	金城大学 作業療法学科1年	22
計			709人

③ テクニカルエイド普及展示会 (※テクニカルエイド：福祉用具や住環境に関するリハビリテーション技術支援)

(対象：特別支援学校や特別支援学級の教職員等)

実施年月日	内容及び講師	会 場	参加者数
H28. 8. 8(土) 12:00～16:30	福祉用具及び福祉車両の展示	ワークパル七尾	154人

④ リハビリテーションセンターでの見学実習及び体験学習

ア 医療・保健・福祉・工学関係分野の学生や団体等を対象にした体験学習

	高 校	専門学校	短大・大学	企業・法人	その他	合 計
受入団体数	3	15	6	1	12	37件
見学者数	18	193	68	2	175	456人

イ 小・中学生 (ジュニアコース) を対象にした体験学習

	小学校	中学校	合計
受入団体数	5	3	8件
体験者数	344	163	507人

ウ 高齢者疑似体験用具の貸出

	小学校	中学校	高 校	専門学校	企業・法人	その他	合計
貸出件数	26	11	1	6	15	4	63件



(3) バリアフリー体験住宅「ほっとあんしんの家」の利用状況

高齢者や障害者が住みやすいバリアフリー住宅の見学・体験を受け入れるとともに、県内の医療福祉関係者、企業等に対して福祉用具や住環境に関する研究、開発、教育の場として提供し、必要な場合は外部の有識者等による技術支援を行う

区 分	内 容	利用人数		利用件数	
		27年度	28年度	27年度	28年度
研究・開発	県内企業、団体等における福祉用具、住環境、ユニバーサルデザイン製品の研究開発の場として利用	人 140	人 68	件 39	件 22
テクニカルエイド相談 福祉用具や住環境を用いた障害者への自立支援	障害者や高齢者の自立生活を促進するための福祉用具の試用・適合、住宅プランを検討する場として利用	517	601	129	149
研修教育	先端的なバリアフリー体験住宅により、医療・福祉専門職や学生等の教育研修の場として利用	2,432	2,130	84	88
一般見学	生涯住宅としてのバリアフリー住宅の提案の場として利用	531	339	66	61
合 計		3,620	3,138	318	320

<参考> ほっとあんしんの家の利用状況

		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用 総 数	平成24年度	件数	21	18	28	28	21	20	27	20	9	9	18	14	233	
		人数	104	338	436	197	131	302	447	285	55	57	421	98	2,871	
	平成25年度	件数	18	33	35	32	29	21	3	0	0	0	0	33	32	236
		人数	117	406	385	336	213	150	13	0	0	0	0	762	194	2,576
	平成26年度	件数	31	37	47	41	37	25	28	33	33	15	15	20	16	345
		人数	154	248	516	325	257	294	282	407	125	98	517	99	3,322	
	平成27年度	件数	19	22	31	29	25	28	33	33	33	20	22	28	28	318
		人数	56	191	336	331	274	379	399	404	184	146	706	214	3,620	
	平成28年度	件数	18	20	32	26	29	28	25	29	23	18	37	35	320	
		人数	130	148	174	289	163	264	350	327	112	132	827	222	3,138	
	一 般	平成24年度	件数	10	6	10	10	4	7	9	6	2	1	1	5	71
			人数	13	54	115	63	4	47	195	102	3	2	2	8	608
内県政バス		件数	-	1	3	1	0	0	5	1	-	-	-	-	11	
		人数	-	44	96	29	0	0	189	47	-	-	-	-	405	
平成25年度		件数	3	8	19	12	8	5	0	0	0	0	15	14	84	
		人数	10	81	115	95	15	10	0	0	0	0	46	57	429	
内県政バス		件数	-	1	1	1	0	0	0	0	-	-	-	-	3	
		人数	-	52	38	32	0	0	0	0	-	-	-	-	122	
平成26年度		件数	14	9	18	10	7	6	9	10	2	2	3	5	95	
		人数	48	58	187	127	41	33	68	62	8	8	4	9	653	
内県政バス		件数	-	1	3	3	0	0	1	0	-	-	-	-	8	
		人数	-	43	105	114	0	0	37	0	-	-	-	-	299	
平成27年度		件数	6	5	4	11	6	8	8	2	1	3	2	10	66	
		人数	10	117	27	67	44	128	57	37	5	5	6	28	531	
内県政バス		件数	-	3	0	1	1	2	1	0	-	-	-	-	8	
		人数	-	113	0	37	37	92	30	0	-	-	-	-	309	
平成28年度	件数	3	2	7	7	2	9	3	9	5	1	3	10	61		
	人数	13	3	37	78	2	37	38	53	8	2	6	62	339		
内県政バス	件数	-	0	0	1	0	0	1	0	-	-	-	-	2		
	人数	-	0	0	41	0	0	32	0	-	-	-	-	73		
研 修 教 育	平成24年度	件数	2	4	10	5	7	6	5	7	2	1	6	2	57	
		人数	25	223	262	55	83	197	172	139	13	14	358	57	1,598	
	平成25年度	件数	1	5	7	8	8	3	0	0	0	0	11	5	48	
		人数	39	218	212	162	126	86	0	0	0	0	696	78	1,617	
	平成26年度	件数	3	5	13	9	14	7	5	9	2	3	9	3	82	
		人数	28	97	267	127	147	218	154	297	77	54	468	53	1,987	
	平成27年度	件数	2	2	12	6	6	5	9	14	5	6	12	5	84	
		人数	11	22	275	212	179	193	264	310	115	86	630	135	2,432	
	平成28年度	件数	3	5	6	11	13	7	8	8	2	5	15	5	88	
		人数	56	88	68	171	94	190	262	222	54	96	755	74	2,130	
相 談	平成24年度	件数	9	8	8	13	9	7	13	6	5	7	7	5	97	
		人数	66	61	59	79	43	58	80	42	39	41	48	27	643	
	平成25年度	件数	8	9	7	6	8	8	3	0	0	0	6	8	63	
		人数	44	58	54	44	57	42	13	0	0	0	18	34	364	
	平成26年度	件数	11	15	13	19	13	8	12	14	10	8	8	8	139	
		人数	72	65	57	66	60	26	52	48	34	32	45	37	594	
平成27年度	件数	10	13	11	11	10	9	13	10	10	10	12	10	129		
	人数	31	47	28	44	45	33	58	32	46	47	63	43	517		
平成28年度	件数	10	13	15	7	12	12	12	12	13	11	16	16	149		
	人数	53	57	62	36	65	37	47	52	46	32	57	57	601		
研 究 開 発	平成24年度	件数	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	4	2	8	
		人数	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	13	6	22	
	平成25年度	件数	6	11	2	6	5	5	0	0	0	0	1	5	41	
		人数	24	49	4	35	15	12	0	0	0	0	2	25	166	
	平成26年度	件数	3	8	3	3	3	4	2	0	1	2	0	0	29	
		人数	6	28	5	5	9	17	8	0	6	4	0	0	88	
	平成27年度	件数	1	2	4	1	3	6	3	7	4	3	2	3	39	
		人数	4	5	6	8	6	25	20	25	18	8	7	8	140	
	平成28年度	件数	2	0	4	1	2	0	2	0	3	1	3	4	22	
		人数	8	0	7	4	2	0	3	0	4	2	9	29	68	

※平成25年度は、改修工事のため平成25年10月11日（金）～平成26年1月31日（金）まで臨時休館

#### 4 リハビリテーション技術支援ネットワーク構築事業

障害者総合支援法や県の地域医療再生計画により、高齢者や障害者の自立支援が重要視される中、平成24年度に実施したリハビリテーション機能強化検討会及びアンケート等の結果を踏まえ、身近な地域で福祉用具や住宅改修等によるリハビリテーション技術支援体制の充実を図ることにより、高齢者や障害者が自立した在宅生活や積極的な社会参加を促進する。

##### (1) 障害(児)者の自立に向けた支援機関連携モデル事業

地域におけるリハビリテーション技術支援の活性化や効率化を図るため、市町の基幹相談支援センター等を窓口とした支援機関の連携によるモデル事業を実施し、ケースに関わる支援者が一堂に会した合同ケース検討会等を通じて、各地域における支援者同士のネットワークづくり及び適切なリハビリテーション技術支援が提供できる相談支援体制の充実を目指す。

##### ① 特別講演及び報告会

本事業の普及啓発及び本年度モデル事業の募集を行うため、国内で先進的に障害者相談支援体制づくりに取り組む機関による特別講演会及び昨年度にモデル事業を実施した県内4地域による事業報告会を開催した。

実施年月日	講演会・報告会の内容及び講師等	会場	参加者数
H28. 8. 7(日) 10:00～17:00	<p><b>【特別講演】</b> 「地域包括ケアとリハビリテーション ～主体性を引き出すリハビリテーション～」 講師：三軒茶屋リハビリテーションクリニック 院長 長谷川 幹</p> <p><b>【報告会】</b> リハビリテーション技術支援ネットワーク構築事業報告 「珠洲市・輪島市・能登町・穴水町・中能登町の取組み」 輪島市福祉課 羽村 龍 「羽咋市・志賀町・宝達志水町の取組み」 宝達志水町健康福祉課 中川 郷子 「白山市の取組み」 白山市障害福祉課 堀口 佳子 「加賀市の取組み」 加賀市ふれあい福祉課 佐藤 香苗</p> <p>シンポジウム テーマ「在宅障害者の主体性を引出す支援を目指して」 相談支援キララ 相談支援専門員 田中こず恵 居宅介護支援事業所やすらぎ 介護支援専門員 馬渡 徳子 済生会金沢訪問看護ステーション 理学療法士 古矢 泰子 山中温泉ぬくもり診療所 児童デイサービス このゆびとーまれ山中 作業療法士 水谷 仁美</p>	リハビリ テーション センター	138人

② モデル事業の実施：2地域（金沢市、内灘町）

ア 金沢市（金沢市障害福祉課）

実施事項	内 容
リハビリテーション技術支援に関する検討会等の実施	<p>(1) 基幹型相談支援センター全国研修会への参加            参加者：基幹相談支援センター職員3名、市職員1名            日 時：平成28年10月17日            場 所：東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター            主 催：特定非営利活動法人 日本相談支援専門員協会            後 援：厚生労働省</p> <p>内 容：            ・講演「障害保健福祉の動向と基幹相談支援センターへの期待」            厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課            地域生活支援推進室 相談支援専門官 大平 眞太郎            ・講演「全国の基幹相談支援センターの実践と課題」            日本相談支援専門員協会 橋詰 正            ・基幹型相談支援センター実践報告            栃木県栃木市／長野県大村市／長野県北信圏域            ・グループ討議</p>
リハビリテーション技術支援の啓発・普及	<p>(1) リハビリテーション支援ネットワーク構築に関する研修会の開催            参加者：市内相談支援事業所 相談支援専門員18名、            基幹相談支援センター職員3名、市職員1名            日 時：平成29年1月12日            場 所：石川県リハビリテーションセンター</p> <p>内 容：            ・講義「石川県リハビリテーションセンターへの機能について」            石川県リハビリテーションセンター 企画専門員 寺田 佳代            ・講義「金沢市福祉用具情報プラザの機能について」            金沢市福祉用具情報プラザ 館長 安田 秀一            ・石川県リハビリテーションセンター見学</p>
その他	<p>(1) 先進地視察            参加者：基幹相談支援センター開設準備室職員3名、市職員1名            日 時：①平成28年6月30日 ②平成28年8月9日            ③平成28年8月10日            場 所：①大阪府豊中市 「豊中市立障害福祉センターひまわり、            豊中市障害者基幹相談支援センター」            ②愛知県豊橋市 「とよはし総合相談センターほっとびあ」            ③愛知県岡崎市 「岡崎市障害者基幹相談支援センター」</p> <p>内 容：            ・基幹相談支援センターの見学及び運営体制、事業内容等の聞き取り</p>

イ 内灘町 (内灘町 福祉課)

実施事項	内 容
リハビリテーション技術支援に関する検討会等の実施	<p>(1) 合同ケース検討会 (勉強会)            参加者：内灘町相談支援事業所連絡会 3 人、いしかわ特別支援学校 1 人、石川県リハビリテーションセンター 4 人、内灘町福祉課職員 4 人、アドバイザー (金沢医科大学リハ科教授 1 人 計 13 人            日 時：平成 29 年 1 月 25 日            場 所：内灘町役場 1 階 101 会議室</p>
リハビリテーション技術支援の啓発・普及	<p>(1) 特別講演会            参加者：住民等 約 150 人            日 時：平成 29 年 2 月 25 日            場 所：内灘町役場 1 階 町民ホール            内 容：            演 題：「地域から引き出すリハビリテーションの力」            講 師：金沢医科大学 医学部 リハビリテーション科 教授 影近 謙治</p> <p>(2) 先進地視察            参加者：内灘町障害者相談員 3 人、内灘町相談支援事業所連絡会 2 人、内灘町社会福祉協議会 1 人、内灘町福祉課職員 3 人 計 9 人            日 時：平成 28 年 11 月 18 日            場 所：石川県リハビリテーションセンター            内 容：            ・センターの概要説明、事例紹介            ・見学 (センター、ほっとあんしんの家)</p>
その他	<p>(1) 福祉用具の啓発事業            参加者：町民、医療福祉関係者等            日 時：平成 28 年 10 月 5 日            場 所：内灘町役場 1 階 町民ホール            内 容：            ・福祉用具の展示等 (「内灘町社会福祉大会」に併せて実施)</p>

(2) 補装具の適合・供給人材スキルアップ事業

① 自立支援型プランニング実践研修

障害者の相談支援専門員や介護支援専門員（ケアマネージャー）等を対象に、自立支援型サービス計画の視点を重視したプランニング実践研修（3回1コース）を実施し、地域での確なリハビリテーション技術支援のコーディネートができる人材育成を図る。

（平成28年度修了証取得者：38名）

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
第1回 H28.6.23(木) 10:00～15:00	①「身体特性を生かした自立度の高い生活の実現をめざして」 講師：NPOバーチャルメディア工房 理事長 上村 数洋 金沢美術工芸大学 名誉教授 荒井 利春 ②「自立を視点においたプランニング実践について」 講師：ライフクリエートかほく 相談支援専門員 前川 直樹 浅ノ川総合病院 作業療法士 竹田 はるか (株)ライフワン 福祉用具専門相談員 高島 一	リハビリ テーション センター	50
第2回 H27.7.22(水) 10:00～16:30	①「生活の中で活用する福祉用具の考え方」 講師：リハビリテーションセンター職員 ②「自立を視点においたアセスメントへの 取り組みポイント」 講師：ケアマネウイズだいこんの花 社会福祉士・主任介護支援専門員 小島 操	〃	45
第3回 H27.8.19(水) 13:30～16:30	「事例演習」 講師：ケアマネウイズだいこんの花 社会福祉士・主任介護支援専門員 小島 操	〃	43
合 計			138人

② 補装具適合・製作等実践的技術研修（H28年度テーマ「コミュニケーション機器」）

リハビリテーション専門職や福祉用具専門相談員等を対象に、電動車椅子、車椅子、座位保持装置、コミュニケーション機器（重度障害者用意思伝達装置）等の補装具に関する適合・選定・改良・製作等の実践的技術セミナー（6回1コース）を実施し、地域で補装具等を活用したリハビリテーション技術支援ができる人材育成を図る。

（平成28年度修了証取得者：30名）

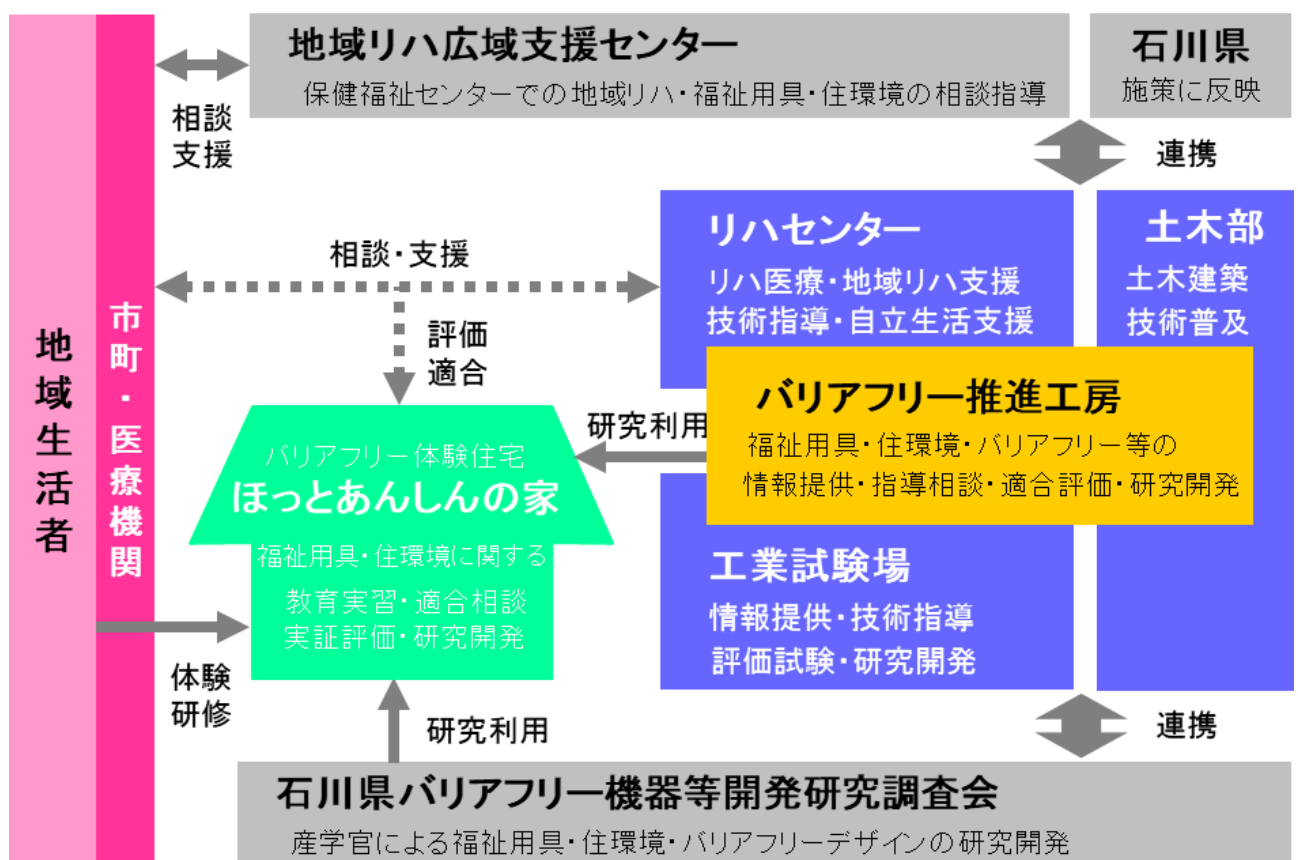
実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
第1回 H28.9.17(土) 14:00～17:00	講義 「生活の中でのコミュニケーションの捉え方と評価について」 講師：国立病院機構 八雲病院 作業療法士 田中 栄一	リハビリ テーション センター	52
第2回 H28.10.22(土) 14:00～17:10	講義・演習 ニーズに応じたコミュニケーション機器の適合技術① 「ローテクコミュニケーションエイド編」 その1 重度な障害がある方への対応(口文字・文字盤等) 講師：大阪市援助技術研究所 作業療法士 池田 真紀 その2 認知機能に障害のある方への対応(絵カード・玩具等) 講師：相談支援事業所さきずな 相談支援専門員 笠合 竜明	〃	54
第3回 H28.11.5(土) 14:00～17:00	講義・演習 ニーズに応じたコミュニケーション機器の適合技術② 「IT活用(あるテク)編」 講師：日本福祉大学 健康科学部 福祉工学科 教授 渡邊 崇史	〃	55
第4回 H28.12.11(日) 10:00～16:00	講義・演習 ニーズに応じたコミュニケーション機器の適合技術③ 「ハイテクコミュニケーションエイド編」 その1 重度な障害のある方へのコミュニケーション支援 ～機器を活用する上での評価と適合～ 講師：東京都作業療法士会 会長 田中 勇次郎 その2 重度な障害のある方へのコミュニケーション機器の理 解(実習)	〃	41
第5回 H29.1.29(日) 14:00～17:00	講義・演習 コミュニケーション機器に関する制度 講師：更生相談所職員、リハビリテーションセンター職 員 事例演習① 講師：リハビリテーションセンター職員	〃	39
第6回 H29.2.19(日) 14:00～17:00	講義・演習 事例演習② 講師：リハビリテーションセンター職員	〃	37
補講 H29.3.25(土) 10:00～12:00	演習 事例演習 講師：リハビリテーションセンター職員	〃	7
合計			285人

## II バリアフリー推進工房の状況

健康福祉社会の構築と新産業の創出に向けて、リハビリテーションセンター、工業試験場、土木部建築住宅課および健康福祉部厚生政策課の連携により、障害者の自立生活支援、福祉用具の開発、製品・住環境のユニバーサルデザイン研究等を行っている。

### 事業と組織の概要

- ・ 障害者個々へのリハビリテーション工学支援技術（福祉用具・住宅改修等による自立生活支援技術）の提供
- ・ 障害者のニーズ把握と身体特性データの蓄積
- ・ リハビリテーション工学支援技術の体系化
- ・ 産学官連携による福祉用具、住環境、ユニバーサルデザイン製品の研究開発
- ・ 県内企業・大学・医療福祉関係機関等への情報提供と技術普及





1 福祉用具・住環境に関する相談・支援事業

(1) 相談・支援件数

- ① 医療・福祉機関等が既存技術で解決できない福祉用具や住環境等の相談・指導  
実績：908件
- ② 企業に対する福祉用具、ユニバーサルデザインの相談・指導  
実績：312件
- ③ 行政に対する福祉用具、ユニバーサルデザインに対する相談・指導  
実績：204件

依頼元別内訳

単位：件

依頼元	TA相談	情報提供	設計開発 相談	試作製品 評価	合計
医療福祉機関等	749	57	6	0	812
教育機関等	54	25	2	0	81
企業等	5	146	137	29	317
行政・公共団体等	100	75	37	2	214
合計	908	303	182	31	1,424

※TA相談：福祉用具活用・住宅改修等によるリハ技術支援に関する相談

用具分類別内訳

単位：件

分類	TA 相談	情報 提供	設計開 発相談	試作製 品評価	合計
治療訓練用具	1	7	10	0	18
義肢・装具	21	3	0	0	24
パーソナルケア関連用具（トイレ・入浴・他）	39	13	1	0	53
移動機器（車椅子クッション・他）	16	3	3	0	22
移動機器（リフト）	27	5	1	0	33
移動機器（移乗・体位変換用具）	14	6	0	1	21
移動機器（視覚障害者用機器）	0	1	0	0	1
移動機器（自動車）	1	11	2	0	14
移動機器（車椅子）	129	50	4	2	185
移動機器（電動車椅子）	253	50	51	2	356
移動機器（杖・歩行器）	22	5	10	0	37
家事用具・操作用具（自助具・他）	35	6	31	15	87
家具・建具、建築設備（スロープ・昇降装置・住宅部品・他）	9	5	8	0	22
家具・建具、建築設備（ベッド・机）	2	2	0	0	4
家具・建具、建築設備（椅子・座位保持装置）	100	16	7	5	128
コミュニケーション関連用具（入力装置）	47	21	3	2	73
コミュニケーション関連用具（固定調整具・	3	5	0	1	9
コミュニケーション関連用具（呼びベル・緊急通報・環境制御装置）	16	1	0	0	17
コミュニケーション関連用具（視・聴覚障害者用機器）	0	0	0	0	0

分 類	TA 相談	情報 提供	設計開 発相談	試作製 品評価	合 計
コミュニケーション関連用具（対話用機器）	90	28	1	1	120
環境改善機器・作業用具	0	1	1	0	2
レクリエーション用具	0	23	0	0	23
都市計画	0	0	0	0	0
公共建築・施設	0	7	37	0	44
住環境	83	5	6	0	94
福祉用具全般	0	23	0	1	24
技術要素	0	3	6	1	10
その他	0	3	0	0	3
合 計	908	303	182	31	1424

## （２） 自助具製作ボランティア活動

障害のある人のうち特に進行性疾患（難病）の人に自助具が必要となる場合、既製品での対応が難しいことが多く、さらに、適時適切な用具の提供が必要になるため、身近な地域での自助具製作や適合支援が求められる。

このため前年度に、ものづくりの職能を活かした地域人材（メーカーOB等）から7名の自助具製作ボランティアを募り、育成及び登録を行い、今年度は、このボランティアにより電動車椅子操作ボックスの配置調整具、ベストタイプの体幹保持ベルトなど3課題について延べ9回の活動を行った。

## 2 研究開発事業

リハビリテーション工学支援技術の提供で蓄積されたデータをもとに、高齢者・障害者の生活ニーズ、身体特性、支援技術などを体系的に整理し、福祉用具、住環境、ユニバーサルデザイン製品に関する自主的研究、企業や行政との共同研究開発などを行っている。

### （１） 自主的研究開発

#### ア 生活・環境適応型車椅子の研究開発

##### ・姿勢変換機能付車椅子用フット・レッグサポート電動昇降装置

車椅子のフット・レッグサポートは利用者の姿勢保持要素として重要であり、これを上下させることで作業や休息に応じた姿勢変換を可能とする有効な装置となる。

一方、「電動姿勢変換可能なコンパクト軽量電動車椅子」の開発を進めており、この椅子にも利用できるフット・レッグサポート電動昇降装置の試作を行い、開発中の電動車椅子への導入を検討した。

【委託加工：フット・レッグサポート電動昇降装置の試作】



フットサポート下降時      フットサポート上昇時

### （２） 他機関との共同研究開発

#### ア 行政との連携による研究開発（公共施設のユニバーサルデザイン研究）

- ・ 県立中央病院、県有施設等のユニバーサルデザイン支援：県土木部

イ 企業との共同研究開発 [研究開発型企業重点指導]

・姿勢変換可能なコンパクト軽量電動車椅子の開発支援：(株)今仙技術研究所

重度の障害がある電動車椅子ユーザが日常生活を車椅子上で過ごすには、自身で姿勢変換を行える電動姿勢変換機能が必要となるが、その機能を有する市販品は標準形の電動車椅子しかなく、狭い在宅環境で活用するには、旋回性に優れた小型で軽量の電動姿勢変換機能付き電動車椅子の製品化が求められている。

そこで、平成 23 年度から当センターの自主研究課題として、姿勢変換及び室内移動が円滑な軽量でコンパクトな電動リクライニング・ティルト式電動車椅子の開発に取り組んできた。ここから得られた開発条件をもとに実用化研究を今仙技術研究所が担い、その指導を行った。

製品化に向けて、後輪駆動方式の駆動機構と並行して姿勢変換時に座席部が前方にスライドするティルト機構の設計支援を行い、試作機によるモニター評価で姿勢保持や姿勢変換など基本機能の有効性を確認するとともに、ヘッドサポートやアームサポートの仕様等も検討した。

なお、本研究開発は公益財団法人テクノエイド協会が実施する「平成 28 年度障害者総合支援事業費補助金（障害者自立支援機器等開発促進事業）」により実施している。

・認知・歩行能力が低下した高齢者の歩行車開発支援：(株)メディベック

現在、病院や施設等で利用されている市販の歩行車には、大きく分けて制動装置付きのものそうでないものがあり、利用者の身体特性によって使い分けられているが、利用者の転倒事故や介護職員の見守り負担につながるケースが少なくない。

このため、当社との共同開発者の特許技術である「利用者の歩行能力や手指機能、認知面等に応じて意識せず適度に制動がかかり、転倒リスクや介護負担を軽減する特殊制動装置を応用した歩行車の製品開発を支援した。

今年度の具体的な指導内容は、①身体機能や認知面等の低下により自らの意思でブレーキ操作が困難な利用対象者の見極め、②対象者に適した制動装置の機構検討、③対象者の歩行能力及び身体寸法に適した歩行車の寸法・形状検討を行い、次年度に実施予定のモニター検証に対応可能な試作品の開発方針を導いた。

なお、本研究開発は公益財団法人石川県産業創出支援機構が実施する「平成 28 年度いしかわ産業化資源活用推進ファンド事業助成金」により実施している。

3 技術普及・啓発

(1) 他部局との連携

- ・身体障害者更生相談所との技術連携・支援（健康福祉部）
- ・バリアフリー社会推進賞の募集・審査（健康福祉部）
- ・学校における福祉用具及びバリアフリー環境等に関する情報提供（教育委員会）

(2) 他機関委員会等への参画

- ・バリアフリー北陸信越ブロック地域連絡会（北陸信越運輸局）
- ・障害者雇用管理サポート事業（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構）
- ・福祉機器採択審査・技術委員会  
（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）
- ・戦略的基盤技術高度化支援事業（公益社団法人石川県産業創出支援機構）

(3) 展示会への出展

- 最新福祉用具及びバリアフリー推進工房の活動を紹介（健康福祉部）
- ・障害者ふれあいフェスティバル
- ・介護フェスタいしかわ

4 福祉用具の貸出 845件

関係機関からの依頼により、試用・評価用の福祉用具を貸出している。

分類	用具	件数	小計
装具	BFO・スプリング balanサー・スプリン	18	18
パーソナルケア	トイレ・入浴・更衣・整容	52	52
移動・移乗用具	杖・歩行器	11	383
	車いす	78	
	電動車いす	57	
	クッション	102	
	車いす部品	107	
	リフト・吊り具	7	
	移乗用具・他	21	
食事・炊事・操作用具	食事・炊事用具	108	108
家具・建具・建築設備	座位保持装置・いす	58	66
	家具類（机等）	2	
	スロープ・手すり・他	6	
コミュニケーション	スイッチ・入力装置	113	204
	意思伝達装置・会話補助装置	37	
	呼び出しベル・環境制御装置	7	
	固定・調整用具	47	
その他	スポーツ・レクレーション用具・他	14	14
合計			845件

### Ⅲ 難病相談・支援センターの状況

#### 1 難病相談

電 話	面 接	うち		メール FAX はがき	その他 (ケース 会議等)	家 庭 訪 問	合 計
		うち 専門医	う ち リハビリ 専門職				
513	149	15	45	65	147	49	923

#### 2 患者交流会

回 数	参加人数 (うち難病患者)
36回	166 (129) 人

#### 3 研修会

##### (1) 難病研修会 (対象：難病患者、家族)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加 者数
H28. 8. 3(水) 13:30～16:00 *高次脳センターと 共催	ピアサポート研修会 「ピアサポートの心構えと傾聴の基本」 講師：県立看護大学 教授 武山 雅志	リハビリ テーション センター	7
H28. 8. 26(金) 14:00～16:00	医療講演会・相談会 腎臓系疾患に関する医療講演会 「IgA 腎症・多発性嚢胞腎・一次性ネフローゼ症候群 について」 講師：金沢大学附属病院集中治療部腎臓内科 医師 遠山 直志	〃	28
H28. 9. 5(月) 10. 3(月) 14:00～16:00	セルフマネジメント研修 難病患者と家族のための感情マネジメント 「自分の感情をよく知ろう」 講師：医王ヶ丘病院音楽心理療法士 朴 裕美	〃	43
H28. 9. 10(土) 11. 12(土) H29. 3. 11(土) 10:00～12:00 *SCD友の会と共催	セルフマネジメント研修 「音楽教室」 講師：齊藤 昌子	〃	18
H28. 10. 6(木) 13:30～15:30 *高次脳センターと 共催	就労相談会 「難病・高次脳機能障害のある方の就労について」 講師：石川障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 神村 伸一	〃	4

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H28. 10. 18(火) 14:00～16:00	医療講演会・相談会 肝・胆道系疾患に関する医療講演会 「原発性胆汁性肝硬変・自己免疫性肝炎・ 原発性硬化性胆管炎について」 講師：金沢大学附属病院消化器内科 助教 島上 哲朗	リハビリ テーション センター	48
H28. 10. 19(水) 13:30～15:30	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 「小児がんの晩期合併症を知ろう」 講師：金沢医科大学病院 小児科 主任教授 犀川 太	〃	7
H28. 10. 31(月) 13:00～15:00	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 「プラダー・ウィリー症候群の食事について」 講師：大阪府立母子保健総合医療センター栄養管 理室 副室長 西本 裕紀子	能登中部保 健福祉セン ター	41
H28. 11. 7(月) 13:30～16:00 *高次脳センターと 共催	ピアサポート研修会 「ピアサポートの実践に向けた一歩」 講師：富山大学人文学 准教授 伊藤 智樹	リハビリ テーション センター	5
H28. 11. 13(日) 14:00～16:30 *線維筋痛症北陸患 者会虹の架橋と共 催	医療講演会・相談会 痛みに関する医療講演会 「いつまでもハッキリしない痛みについて」 講師：北村内科医院 院長 北村 康 「難病のある方への経済的支援について」 講師：国立病院機構医王病院 ソーシャルワーカー 中本 富美	県社会福祉 会館	36
H28. 11. 18(金) 13:30～15:30	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 「心臓病の子どもの成長発達について」 講師：金沢医科大学循環器センター 副センター長 中村 常之	リハビリ テーション センター	17
H29. 2. 27(月) 13:30～15:30	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 「成長ホルモン（GH）分泌不全性低身長症について」 講師：金沢大学附属病院小児科 岡島 道子	〃	24
合 計			278 人

(2) 難病研修会 (対象：難病患者の支援関係者)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H28. 5. 9(月) 10:30～11:30	地域保健指導論 講義 「難病保健活動の実際」について 講師：リハビリテーションセンター (難病相談・支援センター) 職員	金沢大学鶴間 キャンパス	85
H28. 7. 13(水) 13:00～14:30	難病患者生活支援啓発普及事業 「難病患者体験談」 講師：全国パーキンソン病友の会 石川県支部 伊東 正夫	石川県立看護 大学	83
H28. 7. 15(金) 10:00～10:30	難病支援のための介護支援専門員研修 *自立支援型プランニング研修の中で実施 「難病患者への支援について」 講師：リハビリテーションセンター (難病相談・支援センター) 職員	リハビリテー ションセン ター	45
H28. 11. 1(火) 14:00～16:30	平成28年度難病患者地域関係者研修会 「ALSにおけるコミュニケーション支援について」 講師：リハビリテーションセンター職員	能登中部保健 福祉センター	20
H28. 12. 22(木) 13:00～14:00	難病患者生活支援啓発普及事業 「難病患者体験談」 講師：網膜色素変性症の患者と家族の会 石川県支部 津田 孝司	金沢大学鶴間 キャンパス	71
H29. 1. 13(金) 13:00～17:15	難病ホームヘルパー養成研修 「石川県の難病対策」 講師：県健康推進課職員 「難病相談・支援センターについて」 講師：難病相談・支援センター職員 「神経難病の理解」 講師：独立行政法人国立病院機構医王病院 医師 清水 愛 「難病患者さんの口腔ケアと看護」 講師：独立行政法人国立病院機構医王病院 看護師 木村 美穂 「難病患者さんと家族への精神的支援」 講師：独立行政法人国立病院機構医王病院 ソーシャルワーカー 吉田 力	リハビリテー ションセン ター	41
H29. 2. 25(土) 14:00～16:00	脳脊髄液減少症に関する研修会 「脳脊髄液減少症の診断と治療」 講師：明舞中央病院 脳神経外科部長 中川 紀充 「脳脊髄液減少症について」 講師：NPO 法人 脳脊髄液減少症患者・ 家族支援協会 代表理事 中井 宏	〃	51
合 計			396 人

(3) ボランティア育成研修会

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H28. 4. 25(日) 8:30~17:15	「脊髄小脳変性症、多系統萎縮症の方への 対応について」 講師：リハビリテーションセンター (難病相談・支援センター) 職員	福井県立恐竜博物館	5
H28. 11. 13(日) 14:00~16:30	医療講演会・相談会 痛みに関する医療講演会 「痛みがある難病患者への対応について」 講師：リハビリテーションセンター (難病相談・支援センター) 職員	県社会福祉会館	3
合 計			8人

4 連携会議

実施年月日	連絡会テーマ	会 場	参加者数
H28. 5. 24(火) 13:30~15:30	平成 28 年度難病関連事業計画について	リハビリテーションセンター	14
H29. 3. 6(月) 13:30~15:30	平成 28 年度事業実績について	〃	11
合 計			25人

5 患者会支援

実施年月日	内 容	会 場	参加者数
H28. 4. 9(土) 14:00~16:30	下垂体患者の会 (下垂会) 金沢講演会	石川県文教会館	12
H28. 4. 16(土) 9:30~12:30	いしかわ SCD 友の会 2016 年度総会 (SCD: 脊髄小脳変性症)	リハビリテーションセンター	20
H28. 4. 18(月) 14:00~16:30	南加賀地区で在宅療養をしている障害児と親の会 「スマイルの会」学習会	代表者自宅	6
H28. 4. 24(日) 9:20~16:00	いしかわ SCD 友の会交流会	福井県立恐竜博物館	31
H28. 5. 15(日) 14:00~16:00	北陸リウマチ膠原病支援 ネットワークサポーター会議	第一生命ビル ヴィサージュ	17
H28. 5. 22(日) 13:00~16:00	石川県 OPLL 友の会 第 15 回定期総会・15 周年記念医療講演会 (OPLL: 後縦靭帯骨化症)	近江町交流プラザ	55
H28. 6. 12(日) 14:00~16:30	日本 ALS 協会石川県支部総会 (ALS: 筋萎縮症側索硬化症)	医王病院	15



実施年月日	内 容	会 場	参加者数
H28. 6. 26(日) 13:00～15:40	公益社団法人日本リウマチ友の会 第45回石川支部大会・医療講演会	松ヶ枝福祉館	55
H28. 7. 12(火) 13:00～14:00	難病交流会 理学療法士さんに聞いてみよう！ ～身体の維持管理で快適な日常生活～ 講師：リハビリテーションセンター職員	リハビリテーションセンター	4
H28. 9. 11(日) 13:00～15:30	石川県 OPLL 友の会 能登地区患者家族交流会	羽咋市すこやかセンター	11
H28. 9. 13(火) 13:00～14:00	難病交流会 作業療法士さんに聞いてみよう！ ～生活に役立つ道具の話～ 講師：リハビリテーションセンター職員	リハビリテーションセンター	5
H28. 9. 24(土) 11:30～16:00	パーキンソン病友の会運動会	金沢市障害者高齢者体育館	50
H28. 9. 29(木) 14:00～16:00	パーキンソン病患者・家族のつどい 講師：リハビリテーションセンター職員	南加賀保健福祉センター	23
H28. 10. 5(水) 14:00～16:00	パーキンソン病患者・家族のつどい 講師：リハビリテーションセンター職員	能登中部保健福祉センター	9
H28. 10. 11(火) 14:00～16:00	後縦靭帯骨化症患者・家族のつどい 講師：リハビリテーションセンター職員	南加賀保健福祉センター	15
H28. 10. 15(土) 13:30～16:30	いしかわ IBD 結の会 平成 28 年度公開交流会 (IBD：炎症性腸疾患)	金沢大学附属病院 CPD センター	45
H28. 10. 16(日) 13:00～16:30	第 11 回北陸リウマチ膠原病支援ネットワーク総会	ホテル日航金沢	65
H28. 10. 21(金) 14:00～16:00	難病相談会 講師：リハビリテーションセンター職員	能登空港ターミナルビル	5
H28. 10. 28(金) 14:00～16:00	パーキンソン病患者・家族のつどい 講師：リハビリテーションセンター職員	かほく市宇ノ気健康福祉センター	11
H28. 11. 7(月) 14:00～16:00	パーキンソン病患者・家族のつどい 講師：リハビリテーションセンター職員	石川中央保健福祉センター	21
H29. 2. 25(土) 9:00～17:00	平成 28 年度パーキンソン病友の会 講演会・個人相談会 講師：順天堂大学名誉教授 水野 美邦氏	近江町交流プラザ	80
合 計			555 人

#### IV 高次脳機能障害相談・支援センターの状況

##### 1 高次脳機能障害相談

交通事故や脳血管障害等で脳に損傷を負ったため注意障害、記憶障害等の症状により社会適応が困難な方に対して生活上の悩み等に関する相談に応じ、高次脳機能障害者、家族の不安の軽減を図る。

電 話	面 接	F A X等	家庭訪問	合 計
625	174	66	45	910 人

##### 2 生活支援教室

当事者同士の交流や活動を通じて障害の自己認識を深め、また、障害を補うための代替手段を獲得することで、高次脳機能障害者の地域での安定した生活への移行を図る

実施年月日	会 場	内 容	回数	参加人数 (のべ人数)
毎週水曜日	リハビリテーションセンター、 ほっとあんしんの家	スピーチ、認知トレーニング、作業活動等	48 回	8 (256) 人

##### 3 就労者のつどい

当事者同士が就労の中で生じる悩みを語り合い、精神的な安定を図る

実施年月日	内 容	会 場	参加者数
H28. 8. 27(土) 13:30~16:00	レクリエーション 座談会 (仕事について)	リハビリテーションセンター ほっとあんしんの家	5
H28. 12. 10(土) 13:30~16:00	〃	〃	7
合 計			12 人

##### 4 家族教室

高次脳機能障害は、頭部外傷、脳血管障害等による脳損傷の後遺症として、記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などの認知障害が生じ、日常生活・社会生活への適応が困難となる障害である。特に生活場面での障害は、家族への影響も大きく、家族が正しく理解して対応することの難しい場合が多い。

高次脳機能障害者家族教室は、家族が高次脳機能障害を正しく理解することや、家族同士が交流することを目的として実施する。

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H28. 7. 5(火) 13:30~16:00	家族教室 講義「高次脳機能障害の理解と対応について」 講師：リハビリテーションセンター職員 「使える社会資源について」 講師：石川県立中央病院 医療相談室 永田 若菜 氏 「家族会紹介」 講師：高次脳機能障害患者と家族の会つばさ 上口 由美子 氏 交流会	リハビリテーションセンター	8

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H28. 8. 3(水) 13:30～16:00 *難病センターと共催	ピアサポート研修会 講義「ピアサポートの心構えと傾聴の基本」 講師：県立看護大学 教授 武山 雅志 氏	リハビリテーションセンター	3
H28. 10. 6(木) 13:30～15:30 *難病センターと共催	就労相談会 講義「難病・高次脳機能障害のある方の就労について」 講師：石川障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 神村 伸一 氏	〃	3
H28. 11. 7(月) 13:30～16:00 *難病センターと共催	ピアサポート研修会 講義「ピアサポートの実践に向けた一歩」 講師：富山大学人文学部 准教授 伊藤 智樹 氏	〃	1
H29. 2. 7(火) 13:30～16:00	家族教室 講義「高次脳機能障害の理解と対応について」 講師：リハビリテーションセンター職員 「使える社会資源について」 講師：金沢赤十字病院 医療福祉課 河原 久美子 氏 「家族会紹介」 講師：高次脳機能障害患者と家族の会つばさ 和角 道子 氏  交流会	〃	12
計			27人

## 5 高次脳機能障害研修会

高次脳機能障害について理解を深め知識の普及を図る。

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H28. 5. 28(土) 13:30～15:30 *もやもや病の患者と家族の会、高次脳機能障害患者と家族の会つばさと共催	普及啓発研修 講義「理解されない障害（生きづらさ）を生きる人たちにエールを～高次脳機能障害を生きる小林春彦さんの講演会～」 講師：小林 春彦 氏	リハビリテーションセンター	92
H28. 7. 31(日) 13:30～16:00	専門職研修 講義「地域生活を支える～社会的行動障害へのアプローチ～ ー精神科医として、家族としてー」 講師：なやクリニック 院長 納谷 敦夫 氏	〃	78

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H28. 11. 6(日) 13:30～16:00 *高次脳機能障害患者と家族の会つばさと共催	普及啓発研修 講義「高次脳機能障害者の支援と働き方の現状」 講師：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者職業総合センター 特別研究員 田谷 勝夫 氏 シンポジウム「僕らがいきいきと働くために！」 シンポジスト 高次脳機能障害患者と家族の会つばさ 伊藤 哲郎氏 もやもや病の患者と家族の会 中村 佑貴氏 金沢障害者就業・生活支援センター 高村 舞子氏	リハビリテーションセンター	101
合計			271人

#### 6 高次脳機能障害支援関係者連絡会

高次脳機能障害者の社会参加の促進に向けた各機関の役割を理解し、支援上の課題や連携について検討することで関係機関のネットワークを強化する。

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H28. 12. 16(金) 13:30～16:30	支援関係者連絡会 講義「高次脳機能障害者の相談支援について」 講師：神奈川県総合リハビリテーションセンター 神奈川リハビリテーション病院 医療福祉総合相談室 瀧澤 学 氏 グループワーク 「事例検討 ～事例を通して高次脳機能障害者への支援を考える～」	リハビリテーションセンター	262人